



港のしるしと中央の五をもつて、安政5年通商条約により指定された五港を意味し、これに雪環を頂かせて五港のひとつ新潟をあらわす

平成11年3月7日  
平成11年度  
予算(案)特集

にいがた



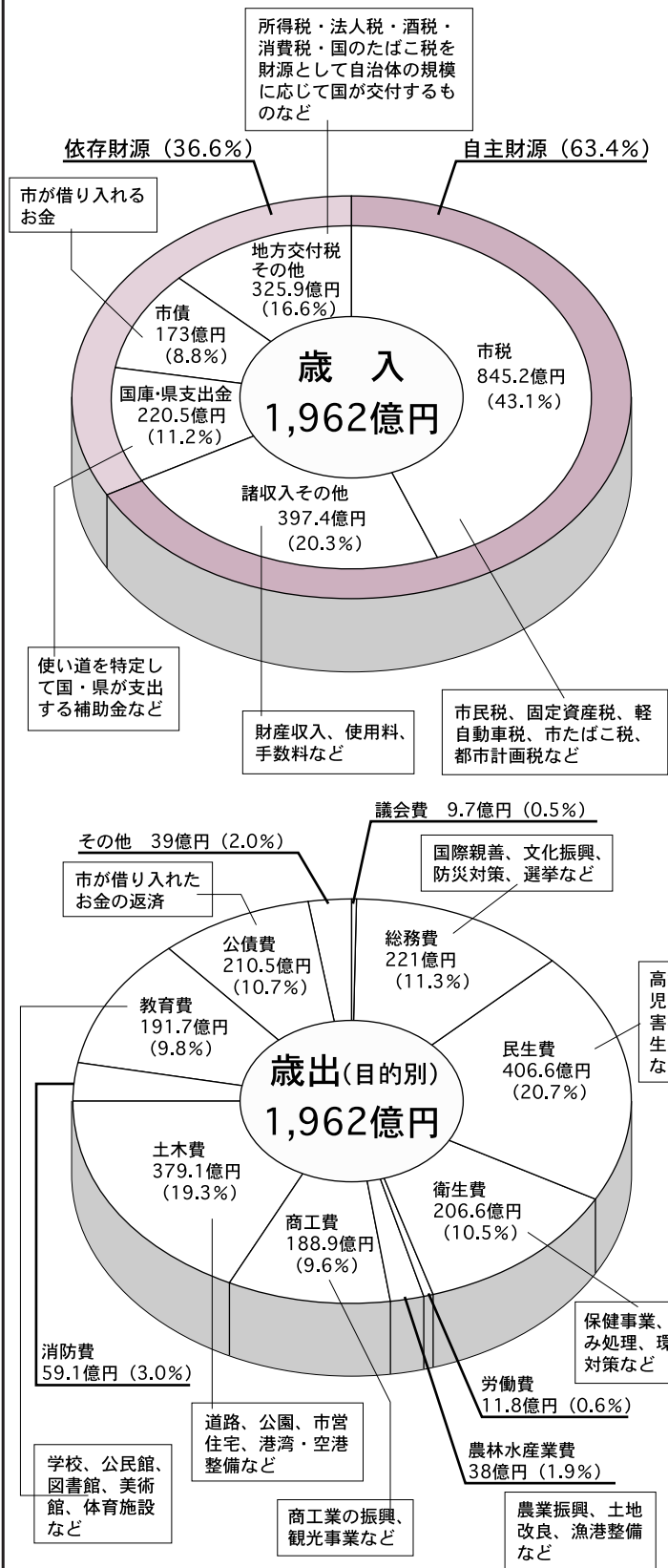
発行日 毎週日曜日 発行 新潟市 〒951 8550 編集 総務部広報課 印刷 第一印刷所 学校町通1 602 1

11年度予算案

福祉・環境・文化施策を推進

産業の活性化と雨水対策にも重点

一般会計予算案の内訳



各会計別予算

一般会計	1,962億円
特別会計	
国民健康保険事業会計	287億4950万円
国民健康保険事業の運営	
下水道事業会計	423億3822万円
公共下水道・農業集落排水の整備と管理運営、雨水対策、下水処理場の管理運営など	
中央卸売市場事業会計	22億607万円
市中央卸売市場の管理運営、総合卸売センターの建設	
老人保健事業会計	447億1686万円
老人保健事業の運営	
その他	51億8224万円
土地区画整理事業会計、と畜場事業会計、土地取得事業会計、工業用地開発事業会計、母子寡婦福祉資金貸付事業会計	
計	1231億9292万円
病院事業会計	161億3079万円
市民病院・大山台診療所の管理運営	
水道事業会計	146億8720万円
合 計	3502億1091万円

(千円以下切り捨て)

市では、現在開会中の3月定例会市議会に、一般会計と9特別会計、病院・水道事業会計の平成11年度予算案など40議案を提案しています。平成11年度当初予算は一般会計予算の総額で1962億円で、市民芸術文化会館などの大型建設事業があった10年度の当初予算に比べて1・9%減となっています。11年度予算は、長引く景気低迷の影響で厳しい財政環境の中でも、最重要課題である「福祉」「環境」「文化」や循環型社会の構築、産業の活性化、雨水対策の推進に重点をおいた内容となっています。(平成11年度予算は、3月定例会市議会で現在審議中です)

紙面紹介

[2・3面]

4つの都市像ごとの  
予算概要

[4面]

建設が進められる主  
な施設

市民生活の安定と地域経済の活性化へ



新潟市長

長谷川 義明

長引く景気低迷により、一段と厳しさを増している財政状況下での予算編成となりましたが、市民一人ひとりの生活の視点に立った必要なサービス水準の確保に努めるとともに、健全な財政運営に留意し、市債発行額や基金の取り崩し額を10年度よりさらに圧縮して、後年度の負担に配慮いたしました。

また、これまで以上に経常経費の縮減や事務事業の見直しを行い、市民生活の安定と地域経済の活性化などに配慮しながら、重点的な財源配分を行ったところです。総額は昨年度より少なくなりましたが、市民の皆さんの期待にこたえ、充実した予算になるよう意を尽くしたと考えています。

予算の内容としましては、市政の最重要課題と位置付けてきた「福祉」「環境」「文化」について、引き続きその着実な前進を図るとともに、昨年来の緊急対策に続く総合的な雨水対策を中心に、防災機能の充実・強化に努めました。また、地域の発展を支える商工業・農業などの振興や、経営支援融資枠を拡大するなど、不況対策にも積極的に取り組んだところです。

さらに、地球的課題となっている環境問題については、「循環型社会」を構築するための取り組みに特に力を注ぎました。人と自然が共生する社会づくりに向けて、地道な努力と施策の充実を図ってまいりたいと思います。

これからも、先進性のある、誇りの持てる豊かなまちづくりを皆さんとともに進めてまいりたいと思います。いっそうのご協力をお願いいたします。